

旭中央病院で成人急性リンパ性白血病（Acute Lymphoblastic Leukemia, ALL）と診断された方へ

総合病院国保旭中央病院血液内科では、日本成人白血病治療共同研究グループ（JALSG）で行われている共同研究に参加しています。本試験の内容は以下の通りですが、JALSG ホームページ（http://www.jalsg.jp/clinical-research/now/all_cs_12.html）も併せてご参照下さい。

【研究課題名】

JALSG 研究参加施設に新たに発生する全ての成人 ALL 症例を対象とした 5 年生存率に関する前向き臨床観察研究：（JALSG-ALL-CS-12）

【研究事務局】

札幌北楡病院血液内科 今井 陽俊

【研究の目的】

本研究に参加する JALSG 施設において新規に診断された全ての急性リンパ性白血病（Acute Lymphoblastic Leukemia, ALL）の 5 年生存率、および生存に与える移植療法の影響を明らかにする。
さらに今後の JALSG ALL 治療プロトコール作成の戦略を検討するためのデータを蓄積する。

【研究の種類】

疫学研究(前方向の観察研究)

【研究の対象となる方】

参加施設で新たに診断される急性リンパ性白血病（Acute Lymphoblastic Leukemia, ALL）

【除外基準】

ALL に対する化学療法または造血幹細胞移植療法を受けている例

【研究の方法】

参加施設で新たに診断された対象疾患患者を連続的に登録し予後を調査する前方向観察研究として実施します。
治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。
個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

【収集される情報】

- (1) ALL 患者の 5 年生存率
- (2) ALL 患者の生存率に対する造血幹細胞移植の影響
- (3) 造血幹細胞移植を受けた ALL 患者の生存率に対する移植時期、前処置の影響
- (4) 国内 ALL の年齢、性別、病型スペクトラム
- (5) 既知の予後因子による全症例層別化可能性の確認

- (6) 化学療法の実施状況

(7)化学療法による寛解持続期間

【研究の意義】

これまで国内には多数例を用いて急性リンパ性白血病の全体像を明らかにした報告はなく、こうした疾患に対する治療法開発のために重要な情報が得られると考えられます。

この研究は患者様お一人ずつから直接のご同意は頂かずに、この掲示などによるお知らせをもってこの研究の対象となる患者様からのご同意を頂いたものとして実施させていただきます。この研究にご自分の診療情報を使用してほしくない場合や、参加取り止めを希望される場合は、旭中央病院における研究責任医師まで御連絡ください。お断りになられても、不利益が生じることは一切ございません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただけたものとさせていただきます。患者様におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【旭中央病院における研究責任医師】

総合病院国保旭中央病院 血液内科 田中宏明

電話：0479-63-8111（代）